

日本スポーツマスターズ 2022

競 泳 競 技

◇主 旨

21世紀のスポーツ振興を図るにあたっては、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力、志向等に応じて、豊かにスポーツを楽しむことのできる環境を醸成していくことが重要である。

本大会はスポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代のシンボリックなスポーツ祭典として、参加者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、併せて、生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

◇主 催 (公財)日本スポーツ協会・岩手県・盛岡市・(公財)岩手県体育協会・(公財)日本水泳連盟

◇主 管 (一社)岩手県水泳連盟

◇公 認 (公財)日本水泳連盟・(一社)日本マスターズ水泳協会

◇期 日 2022年9月3日(土)・9月4日(日)

◇会 場 盛岡市立総合プール(岩手県盛岡市本宮5丁目3-1)

◇競技方法

(1)全て、男女別、年齢区別のタイムレース決勝とする。

(2)(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に準ずる。

◇種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

(1)競技種目

自由形:50m・100m 背泳ぎ:50m・100m 平泳ぎ:50m・100m バタフライ:50m・100m

個人メドレー:200m フリーリレー:4×50m メドレーリレー:4×50m

混合フリーリレー:4×50m 混合メドレーリレー:4×50m

※男子、女子および年齢別共に同一種目とする。

(2)年齢区分(男女共通)

① 個人種目(個人の暦年齢)

1部(30歳～34歳)

2部(35歳～39歳)

3部(40歳～44歳)

4部(45歳～49歳)

5部(50歳～54歳)

6部(55歳～59歳)

7部(60歳～64歳)

8部(65歳～69歳)

9部(70歳～74歳)

② リレー種目(泳者4名の暦年齢の合計)

120歳の部(120歳～159歳)

160歳の部(160歳～199歳)

200歳の部(200歳～239歳)

240歳の部(240歳～279歳)

280歳の部(280歳～296歳)

※リレーも74歳までとする

(3)競技順序(女・男 9・8・7・6・5・4・3・2・1部の順)

第1日目(タイム決勝)

1 混 合 4×50mフリーリレー

2 女・男 200m個人メドレー

3 女・男 100m自由形

4 女・男 100m平泳ぎ

5 女・男 100mバタフライ

6 女・男 100m背泳ぎ

7 女・男 4×50mフリーリレー

第2日目(タイム決勝)

1 混 合 4×50mメドレーリレー

2 女・男 50m背泳ぎ

3 女・男 50mバタフライ

4 女・男 50m平泳ぎ

5 女・男 50m自由形

6 女・男 4×50mメドレーリレー

(4)参加人員

各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。ただし、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。

(5)個人種目およびリレー種目

- ① リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は74歳までとする。
- ② リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。
- ③ リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

◇申込規定

(1)参加資格、年齢基準および所属都道府県

選手は、(公財)日本水泳連盟(2022年度)または(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(2022年)で、下記に該当すること。

- ① 年齢基準は2022年12月31日現在とする。
- ② 所属する都道府県に在住または在勤の者。
- ③ 第77回国民体育大会水泳競技大会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。
- ④ 監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、公認水泳コーチ3、公認水泳コーチ4、または公認水泳教師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有する者とする。

(2)参加料 一人 5,000円(監督専任者を除く)

一度納入された参加料は返金しない。また、地震風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

(3)申込方法

- ① 参加希望者は、所定の参加申込書用紙に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申し込む。
- ② 都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本スポーツ協会の「参加登録用紙(参加登録 DB)」と(公財)日本水泳連盟競技者登録管理システム(WebSWMSYS)から出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申し込み(エントリー)データ一覧表」を3部作成し、2022年7月15日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。
- ③ (公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、2021年7月29日(金)までに、(公財)日本スポーツ協会へ送付する。
- ④ 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記①、②の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。

(4)その他

- ① 大会出場にあたり、所属名並記を希望する競技者は、所定の様式「競技者所属名称団体並記申請書」を提出すること。なお、所属名並記は(公財)日本水泳連盟登録団体・選手登録者に限る。
- ② (一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、大会申込時に2022年の(一社)日本マスターズ水泳協会の個人登録完了者に限る。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。
- ③ 「日本スポーツマスターズにおける救済(特別)措置について」を確認し、申告が必要な場合は、所定の様式「出場申告用紙」(HP掲載)を提出すること。

◇水着等の制限

(1)競泳水着はFINAの公認した水着を着用すること。水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや2次加工は禁止する。

(2)選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限(水着・バッグ・シャツ等のマーク)している。

※水着規定の詳細は、(公財)日本水泳連盟のホームページ「競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」の内容をよく読むこと。

◇参加上の注意

(1)参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

(2)事故発生の場合、主催者は応急処置を行い、必要に応じて医療機関に移送する。

- (3)大会参加者の大会期間中の急激かつ偶然なケガを補償するため、(公財)日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4)参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5)緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先(本人以外)を把握しておくこと。
- (6)薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

◇表彰・得点

- (1)各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者に記念品を授与する。また、第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは上位2名までとする。
- (2)男女合計得点により総合順位の第1位から第8位までの都道府県に賞状を授与する。なお、総合優勝都道府県には盾を授与する。また、男子および女子の得点順位を発表する。
- ① 個人種目、リレー種目ともに1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。
 - ② 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。
 - ③ 合計得点が同得点の場合は、次のとおりとする。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方(リレー種目は4と計算する)
 - ・1位の数の多い方
 - ・以下8位までこれにならう
- (3)本大会へ10年連続出場者および20回出場者に記念品等を贈る。
- ① 対象者は、(公財)日本水泳連盟の所定の様式「日本スポーツマスターズ10年連続出場者表彰申請書(2022年)」または「日本スポーツマスターズ20回出場者表彰申請書(2022年)」(HP掲載)に記入する。
 - ② 本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、2022年7月15日(金)までに(公財)日本水泳連盟生涯スポーツ委員会「日本スポーツマスターズ2022岩手大会・水泳競技大会(10年連続・20回出場表彰)係」に届けること。なお、当日レースを棄権した場合は連続出場表彰を取り消しとする。
※20回出場表彰は、第1回大会より20回出場された方が対象となります。20回連続で出場している必要はございません。
※10年連続出場者表彰対象に該当する方は「日本スポーツマスターズ2020愛媛大会、2021岡山大会」はコロナウイルス感染症のため中止となったため、今大会に出場される方は「特例措置」を適用し表彰対象とする。

◇会 議

(1)資格審査・プログラム編成

日 時／2022年8月1日(月) 午後1時～

会 場／Japan Sport Olympic Square 会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

TEL 03-6812-9061 FAX 03-6812-9062

(2)監督者会議

日 時／2022年9月2日(金) 午後3時～

会 場／盛岡市総合アリーナ(盛岡タカヤアリーナ)会議室 盛岡市立総合プール隣

〒020-0866 盛岡市本宮 5 丁目 4-1 TEL019-658-1212

◇大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。